



第2回喜界中学校体育大会(応援団演舞)

主	決算審査特別委員会報告	2
な	常任委員会報告	4
内	一般質問に3名が登壇	8
容	読者の声・編集後記	12

## 喜界島の明日を考える 吉田 忠弘(坂嶺)

◎喜界島の人口減少と高齢化は深刻です。私の出郷時昭和四十一年一万四千の人口は、今年八月現在七千六百。「広報きかい」で過去五年間(平成二十二年)の出生と死亡数を調べたら年平均前者五十六、後者百三十六差引八十減。高校卒業生年平均七十三人を加えると毎年百五十三人の減。二十年で三千人です。これ以上の人口減少を食い止め、島の持続的な発展を図る為にはどうすればいいでしょうか？

いくつか提案させて頂きたいと思います。

●一つ目は、「四K農業」の推進です。今後は過度なサトウキビ依存から脱却し、環境(K)に配慮した高品質(K)、高収益(K)、高齢者でも働ける軽労働(K)の「四K農業」を目指すべきではないでしょうか。果樹、花卉、野菜更に畜産等、より生産性が高い農業へシフトし雇用創出を図るべきではないかということです。ちなみに私は四年前帰島後小さな花良治蜜柑園を開園。芳香無核甘味酸味の絶妙なバランス抗がん作用機能成分等々に類例をみない特色を有する花良治蜜柑は活用如何によっては無限の可能性を秘めています。その為まずは増産です。町民が毎年一世帯当たり十本植樹すれば十年で、三十万本。それ位あれば雇用創出の環境が整うのではないのでしょうか。併せて「町営柑橘園」を設置し維持管理作業を町民に委託すれば新規雇用につながりますし、販売収益は「子育て基金」として積み立て人口増の為に活用すればよいのではないのでしょうか。

●二つ目は「文化立島」です。城久遺跡群等貴重な文化的遺産を活かし多くの考古学ファンや歴史ファン等が訪れる「文化的観光」を充実させ一過性ではない「喜界島ファン」を増やし交流人口の増加を図るべきではないでしょうか。

●三つ目は、「三位一体(町民・議会・行政)の取組」です。町民と行政との「行政懇談会」、町民と議会との「議員懇談会」を随時

開催し町民・議会・行政が一体となってこれからの喜界島の発展のために現世代の我々は、何をなすべきか等自由闊達な議論の場を設けたらいいでしょうか。

●四つ目は「島外者の活用」です。「特別町民制度」を設け、島外に「喜界島応援団」を作ったらどうでしょうか。特別町民は、島外者の視点から様々なアイデアを提供、喜界島のPRと特産品を積極的に購入。島からは広報誌の送付等情報発信。現に高知県馬路村はこの制度を導入、私も特別町民となっており(特別村民番号四八一五。村の人口千人の約五倍です。)毎年チラシ等が送られてきて時々同村産品をネット購入しています。更に喜界会等郷友会の活用です。総会開催時島の特産品を展示販売、周囲に喜界島を積極的にPRし特産品受注増に繋げる、Uターン・Iターン希望調査を実施し帰島・定住に繋げる等の取組が考えられます。

●最後に「町営納骨堂」の設置です。私達は「人口減少」のもつ意味をもっと深刻に捉える必要があるのではないのでしょうか。人口減と高齢化で先祖のお墓を守る人がいなくなり都会へ引き上げる方が増えているそうです。そうなるとう帰省する機会は殆どなくなり、島の寂れに拍車がかかります。「町営納骨堂」を設置し町民皆で守っていく仕組みができれば都会で暮らしている「鳥っちゅ」も鳥との絆が途絶えることなく続き、お盆・柴さし・高祖祭り等には子や孫など引き連れて墳墓の地にやってくることでしょう。

◎江戸時代末期薩摩村の危機に陥り領民の大変な尽力で復興した山田集落は、現在十四世帯二十一名平均年齢七十四歳と、再び危機に直面しています。山田集落に続く集落はいくつもありません。今私達一人一人が「平成の泉嶺民」の気概で行動を起こすことが求められているのではないのでしょうか。「ノブレス・オブリージ」身分高き者は相応の義務を負う。」という言葉があります。島の「ノブレス」は選良たる議員諸氏・町長そして役場職員でしょう。ノブレスの皆様方は島の持続的な発展のため、特に高い志と強いリーダーシップを発揮されて取り組んで頂きますよう切望するものです。

## 編集後記

平成二十五年度産業福祉常任委員会の所管事務調査が八月六日にあり、生駒弘副委員長他五名で島根県は日本海に浮かぶ隠岐の島諸島の一つ「海士町」を視察して来ました。喜界島の半分強の島で人口は、二千三百余名です。この「海士町」を視察して非常に多くの勉強をさせてもらいました。一般質問でもさせて頂きました。役場職員の見識改革について再度触れさせて頂きます。

先ずトップが変われば役場職員が変わる。役場職員が変われば役場が変わり、役場が変われば住民が変わる。住民が変われば地域(喜界島)が変わる。それとお金がない、例がない、制度がない、だから出来ない。などは一切言わないことだそうです。

そう言う中、喜界島は大きな産業はなく、役場が喜界島を背負っていると感じます。そこで役場職員が、公務員としての自覚を十分認識し住民の奉仕者として、喜界島を均衡の取れた島に発展させてほしいと願うのみです。

議会広報委員 谷本 泰男

【2】快適で生きがいのある町づくり

1. 社会福祉の充実 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Rows include 福祉の風土づくり and 戸籍・住民基本台帳費.

2. 社会保険の充実 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Row includes 国民年金事務費.

【3】保健福祉の充実 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Multiple rows detailing various welfare programs like 保健福祉総務費, 高齢者福祉費, etc.

【4】生活環境の整備充実 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Rows include 住民生活費, 環境衛生総務費, 火葬場費, etc.



バスターミナル



喜界中学校多目的ホール



手久津久の遺跡

【5】教育振興

1. 学校教育 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Rows include 教育総務費, 小学校費, etc.

2. 社会教育 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Rows include 社会教育費, 保健体育費.

3. 図書館費 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Row includes 図書館費.

4. 給食施設費 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Row includes 給食施設費.

5. 公民館活動 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Row includes 公民館費.

決算審査特別委員会 総額で91億9836万1千円 平成24年度一般会計・特別会計決算を認定

決算審査特別委員会報告 青山春男委員長

一般会計歳入総額五十七億二千七百五十八千円に対し、歳出総額五十五億六千三百二十九万三千円で翌年度への繰り越すべき財源は一億一千二百八十三万九千九百九十九円、実質収支額は、五千九百九十二万九千九百九十九円、収支の均等のとれた財政運営がなされ、と認めることとす。しかし現在国の厳しい財政状況と不透明な国政状況の中、年を増すごとに厳しさが増すと予測されることから、今後、補助金・交付税の増額は期待できない状況であります。また本町の主要な自主財源である町税等についても大きな伸びは期待できず加えて、収入未済額や不納欠損額の発生など自主財源の根幹を成す町税の確保が厳しい情勢にあると言わざるを得ません。さらには少子高齢化に伴う扶助費等の義務的経費の増大、特別会計への繰入金、屠畜場、給食センター、塵芥処理場、火葬場などの庁舎外の各種施設などの維持管理費等が不安定な課題を山積していることから、今後の財政状況は、決して楽観できるものではないと考えます。引き続き各種施設の延命化対策に努めると共に自主財源の収入確保と有利な起債や補助事業の導入については、予算編成時において内容を十分精査され今後もバランスのとれた財政運営を行い、財政効率をより一層高めたい。また特別会計においては、一般会計からの繰り入れなどにより歳入不足を補って目的が達成されていることから、その経営が財政運営に大きく影響を及ぼすと懸念されます。そこで特別会計財政状況と一般会計財政状況を全体としての確に把握し総合的に精査され、財政構造の硬直化が一層進む恐れがあることから、将来における、償還能力等を考慮しつつ、その適切な財政運営に留意され引き続き努力されたい。



県営海岸保全施設整備事業(白水堤防工事)

平成24年度決算にみる主要施策の成果の概要

【1】豊かな暮らしと地域を支える基盤づくり

1. 農業の振興 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Rows include さとるきび生産進行対策事業, 特殊病害虫防除と園芸果樹振興, etc.

2. 林業の振興 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Row includes 林業振興費.

3. 水産業の振興 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Rows include 水産業振興費, 漁港整備費, etc.

4. 商工業の振興 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Row includes 商工業振興事業費.

5. 観光の振興 (単位:千円)

Table with 6 columns: 事業名, 予算額, 決算額, 執行率, 備考, 担当課. Row includes 観光事業費.

平成二十五年第三回定例会は、九月五日から九月十八日までの十四日間の会期で開催されました。

初日は、一般質問に三名の議員が登壇。執行部から提案された平成二十五年一般会計補正予算・特別会計補正予算及び陳情二件は、各常任委員会に付託した。財政の健全化に関する法律に基づく財政健全化判断比率・資金不足比率については報告があり、平成二十四年度喜界町一般会計及び特別会計の決算認定については、決算審査特別委員会に付託した。

最終本会議には、平成二十五年一般会計補正予算・特別会計補正予算について可決し、決算審査特別委員会に付託された、平成二十四年度一般会計及び特別会計の決算については、九月八日、九日の両日審査の結果全会一致で認定すべきものと決定した。また陳情二件については採択された。追加提案された財産の取得については可決、教育委員会委員の任命については同意、人権擁護委員の候補者の推薦については、原案のとおり答申することに決定した。

## 常任委員会報告

### 総務文教委員会



委員長 外内 千里 議員

平成25年度 一般会計補正予算は  
1億7千万6千円を  
追加して  
56億5,823万4千円に

#### ●歳入の主なもの

**増額分**  
地方交付税一億四千七百二十七万六千円です。教育費国庫補助金二十一万八千円の増額は財源の組み換えで、理科観察実験支援事業補助金の県委託金を六十五万四千円減額し組み替えます。県委託金の空港管理委託金百五十万八千円の増額は、交付金の確定に伴うものです。財産収入で市町村職員厚生会残余財産分配金九十万八千円は、鹿

児島県市町村職員厚生会の解散に伴う分配金です。  
繰越金二千四十二万九千円の増額は、二十四年度決算の実質収支額、五千九十二万九千円の半額を自治法第二百三十三条の二の規定により、財政調整基金に繰り入れた残りの額を二十五年度予算に組み入れるものです。

#### 減額分

町民税個人均等割の対象者百四十六名の減に伴い、四十三万八千円減額し、個人所得割は二十四年度より農業所得が一億九千万減額、給与所得が三億七千万円ほど減額になるため、当初予算をさらに、一千二百万八千円減額するものです。

#### ●歳出の主なもの

**増額分**  
総務費、財産管理費の需用費百万円の主なものは、庁舎内の空調修繕費です。企画費の一千二十万円は、小野津小学校跡地利用のために、校舎のサッシ取替えや雨漏り対策事業の設計監理委託と工事請負費です。諸費で町税還付金の六十一万一千円は、法人税割の予定納税の還付金です。派遣職員に係る共済組合の負担金返納分八十六万七千円は、農業共済派遣職員分です。  
商工費の観光費の委託料百五十万円は、喜界町マスコットキャラをイベント等で活用するために、きぐるみ製作やスタンプ、シール等を製作するものです。  
原材料百万円は観光施設整備を行うもので、ウフヤグチの入り口の階段、手すり等を整備するものです。  
土木費の道路維持費の二千八百五十



審査する総務文教委員会

万円は、各集落内の道路整備を行うもので、設計委託料、道路改良舗装工事費です。  
土木費の地域住宅交付金事業費の設計委託料六百万円は、宮戸地区の来年度以降の土地開発許可の申請のためのものです。

教育費の学校建設費の喜界小施設改修工事四百六十七万五千円は、理科室のガス管、給水管を改修するためです。社会教育費の文化活動費十五万円は、全国都道府県持ち回りで行われている国民文化祭が、平成二十七年に鹿児

島県下各市町村で行われるため、実行委員会を設立し取り組むための経費で、喜界町国民文化祭実行委員会への負担金です。県より八割、町より二割の負担で今年度は、委員会出会報酬、先進地視察を予定しています。  
文化財保護費の三百三十六万七千円は、滝川小学校跡地を活用した、埋蔵文化財センターの事務庸人料と、発掘調査員の増加に伴うものです。

保健体育費の四千二百七十五万五千円は、元気臨時交付金で総合グラウンドを改修するもので、外周フェンス取替え二百二十四メートル、旧管理等跡地にトイレと倉庫の新設、照明球と照明灯の増設、消防署側の階段の手すり、バックネットの改修等です。

#### ●質疑の主なもの

元気臨時交付金総額と対象事業について、今後の事業にも見込めるかの質疑に対し、補助事業の対象とならない、町単のハード面の事業が対象で、総額を一億六千万円を見込んでおり、今回の補正で見込み金額に達する予定である。対象事業は、企画費の地域文化等宿泊体験学習整備工事及び設計管理委託費、土木費の集落内道路、改良舗装工事費及び設計委託料、学校建設費の喜界小学校改修工事、保健体育費の総合グラウンド改修工事及び設計監理委託料となっています。

喜界町マスコットキャラきぐるみの活用と、団体等からの貸し出し依頼の対応についてと、商標登録についての質疑に、イベント等での活用を考えている。公の団体からの貸し出し以来には対応する。また詳細については、今後要綱を定め対応する。登録については申請するとの答弁でした。  
道路維持費の対象集落と、事業採択理由についての質疑に、坂嶺一件、川嶺一件、中里四件、荒木二件、志戸桶一件、羽里二件で、これまで要望があり、対応できなかった場所、優先順位を絞りこんだとの答弁でした。  
宮戸地区の開発申請が今になって必要となった理由の質疑に、県の認識は、これまで立替であり必要としないとの解釈であったが、三千平方メートルを超えると必要になるとの指摘により、急ぎで行うものとするとの答弁でした。

#### ◆陳情

**陳情二号 森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方財源の確保のための意見書採択について**

陳情の主な内容は、二酸化炭素吸収源の重要な機能を有する森林整備、保全等を担う市区町村の財源確保と、自然災害等脅威から国民の生命、財産を守るため、森林、林業、山村対策を推

進するため「石油石炭税の税率の特別措置」による、税率の一定割合を、市区町村に贈与する制度の創設を求めるものです。  
**陳情三号 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担金二分の一還元をはかるため、二十四年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情について**

陳情の主な内容は、複式学級の解消に向けて、国の定数基準を改め、必要な措置を講じること。三十人以下の学級編成を求めるものです。教育の機会均等、水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担割合の二分の一の還元を求めるものです。

### 産業福祉委員会



副委員長 生駒 弘 議員

#### ●歳入の主なもの

保健福祉課分  
民生費国庫負担金、百万円は、障害



審査する産業福祉委員会

者自立支援給付費負担金です。内容としては障害者の居宅サービスいわゆるホームヘルプサービスに国が二分の一の負担するものです。県負担金の障害者自立支援給付費負担金五十万円は、国は二分の一でしたが県からは歳出に對して四分の一が負担金として入ってきます。県補助金の社会福祉費補助金七百十五万円の内訳は、介護基盤緊急整備事業補助金で、これは認知症の高齢者グループホームがスプリンクラーの整備をした場合の補助金で二百十五万一千円です。暮らし安心・地域支え合い推進事業補助金四百九十九万九千円は、各集落の見守り体制の構築等に使われるものです。保健福祉費県補助金六十七万六千円は、離島地域不妊治療支援事業費補助金です。

産業振興課部分

県補助金三百四十三万一千円は奄美群島農産物輸送コスト支援パイロット事業補助金で奄美群島における振興を図る上で課題となっている輸送コストについて各島ごとに品目をしぼって先行的に助成するものです。本町は品目を「菊」と指定し、JAや民間の組合に補助するものです。補助率は七割です。

●歳出の主なもの

の増額は、生涯学習大会での講師の謝金です。特定健康診査等事業費六十二万八千円の減額は、特定健診者が当初の人数よりへったため役務費の手数料二十五万円減額、特定健診委託料も三十七万八千円減額するものです。償還金千六百九十三万五千円の内訳は、前年度の確定による、退職者医療療養給付費の過年度返納金の百六十六万六千円と国庫負担金清算返納金千五百二十五万九千円です。

保健福祉課分

社会福祉総務費四百九十九万九千円増額は、暮らし安心・地域支え合い推進事業で、社会福祉協議会への委託料です。なかみとしては、在宅福祉士アドバイザーの研修会、見守りマップの作成など集落の高齢者の支援に對するものです。

障害者福祉費二百万円の増額は、障害者自立支援給付費で障害者認定がおりた新規の四名分です。母子保健事業二百五万一千円は、不妊治療旅費助成金を二百五万一千円増額です。不妊治療旅費助成金は、一回につき夫婦の往復の飛行機等の運賃、バス賃、宿泊は五千円の十五泊分を助成するものです。包括支援センター運営事業費の賃金百八千円の増額は、介護支援センターのケアマネージャーの臨時職員の備人料です。介護基盤緊急整備事業費二百十五万一千円は新設です。これは、介護基盤緊急整備事業補助金で、認知症グループホーム、がじゅまるのスプリンクラーの整備にかかる補助金です。児童福祉費九百四十八万一千円の増額で、賃金六百四十四万円は、今年度より喜界・早町小にて放課後児童クラブを立ち上げてそれぞれ三名の指導員を雇用している。トータルで一千五十三万円かかるので、その分を増額しています。備品購入費二百九十九万三千円増額の内訳は、クーラー四台分で二百四

十四万八千円、テレビとDVDで二十八万五千円、冷蔵庫台六万円、体の保持に二十万円です。

産業振興課分

農業振興費四百四十四万円は、奄美群島農産物輸送コスト支援パイロット事業補助金です。園芸費振興費一千八百八十一万一千円の内訳は、園芸施設整備補助金です。営農支援センター運営費三百九十九万二千円の内訳は、ホイールローダー購入費です。三十馬力のホイールローダーで、一台は、現在あるが古くなり故障が多いので購入するものです。農地費六百九十八万三千円の内訳は、給与等が九百三十四万の減額で、旅費五十五万七千円増額、委託料の中里地区換地計画書作成委託業務百五十万円増額は二十六年度に中里地区を換地計画するための委託料です。にぎわい回廊事業計画作成委託業務三十万円の増額は、農地整備関係の中で農道に花いっぱい運動、観光的なものを、休憩所等できないか計画作成するものです。基幹水利施設管理事業費二百万円は、今年の干ばつによりスプリンクラーの利用が増えたため燃料費を増額するものです。

●次に主な質疑

基幹水利事業とは、地下ダムのことですかとの質疑に對し

▼質疑について

保健事業費の講師謝金はだれに支払うのかの質疑に對し  
人間脳科学研究所所長澤口俊之氏との答弁でした。

議案四十八号平成二十五年度老人福祉施設事業特別会計補正予算(第一号)について

▼歳入について

繰越金の百二十九万四千円の内訳です。

▼歳出について

一般管理費百二十九万四千円の内訳は、職員の給料等一千三十七万六千円の減額、賃金百三十八万六千円増額、需用費九百二万一千円の増額、役務費五十二万八千円の増額、使用料及び賃借料九万七千円の内訳は、備品購入六十三万八千円の内訳です。

▼質疑について

備品購入はなにかとの質疑について、ガス炊飯器との答弁でした。修繕料の内訳については、クーラー設備の修繕料との答弁でした。

議案四十九号平成二十五年度喜界町簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)について

地下ダムを作ったならこの事業をしなくてはいけないと法律で決まっています。この事業は、国県が六割、町が四割ですが、当初需用費を一千八百万円組んでいたが、電気代がふえ増額したものです。地下ダムの運営は役場がして土地改良区は、管理委託をしているとの答弁でした。

園芸施設整備補助金は、どのようなものかの質疑に對し

十一件で、ハウス、平張りハウス、など園芸に関する補助でこの補助で二ha面積が増えるとのことです。

議案四十七号平成二十五年度喜界町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)について

●歳入の主なもの

繰越金九百九十四万一千円の内訳は、前年度繰越金です。

●歳出の主なもの

一般被保険者療養給付費百三十六万四千円増額は、一般被保険者療養給付費保険者負担金です。後期高齢者支援金五百八万円の減額は、今年度の概算払い金額の確定により減額するものです。介護納付金二百三十五万円の減額は、本年度の概算払い金額の確定によるものです。保健衛生普及費百八万円

▼歳入について

衛生使用料百万円増額は、過年度水道料です。繰入金百万円増額は一般会計繰入金です。

▼歳出について

一般管理費三百四十九万六千円の内訳は、賃金百五十万円、委託料二百十万円、賃借料五十五万円が増額で需用費が六十五万四千円の減額です。

議案第五十号平成二十五年度喜界町公共下水道施設使用料を四十二万円増額です。

▼歳入について

公共下水道施設使用料を四十二万円増額です。

▼歳出について

一般管理費四十二万円の増額は、給料等によるものです。

次の議会は、12月上旬を予定しています。

午前 9:30 皆様の傍聴をお待ちしています。

●お問い合わせ先 TEL65-1115

次回  
定例会

町政のここが聞きたい

# いっぱん質問

第3回定例会で3名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



谷本 泰男 議員

## 役場職員の意識改革について

喜界島の少子高齢化による人口減少傾向は、まだまだ歯どめがかかっていないと思います。現状のままで推移すると、二〇三五年、平成四十七年には五千七百人台になると予測されます。

特に、各集落別の推移を見ると、湾、赤連、中里への集中度は著しく多く、平成二十四年度四十三%強になっています。現在三十七集落がありますが、西目集落の人口は二十名で、六十五歳以上が十三名、二十歳から六十四歳までが七名です。〇歳から十九歳は一人もいません。山田集落も人口が二十一名で、六十五歳以上が十五名、二十歳から六十四歳までが六名で、〇歳から十九歳までは一人もいません。この二集落はあと二十年もしたら、集落が消滅する

のではないかと危惧されます。このような集落がほかにも準備としてあります。そこで三点について伺います。

質問① 集落人口の構成

答弁① 役場職員は、出身集落から通勤してはどうか

質問② 来年度からは、採用の際に書面などを取ったかどうか

答弁② 人口別構成については、二十五年三月末で、湾集落が一千四百二十二名、赤連が一千八百八十八名、中里が七百四十五名、合計三千三百五十七名、町全体七千八百二人の四十三%に当たる。反対に山田、西目集落をはじめ十四集落が百人未満、二桁未満ということになっていて、大変、集落の存続に危惧を持っています。

質問③ 出身集落で生活してはということになると、憲法上の問題もあります。御存じだと思いますが、「何人も、公共の福祉に反しない限り、

町長答弁

答弁① 人口別構成については、二十五年三月末で、湾集落が一千四百二十二名、赤連が一千八百八十八名、中里が七百四十五名、合計三千三百五十七名、町全体七千八百二人の四十三%に当たる。反対に山田、西目集落をはじめ十四集落が百人未満、二桁未満ということになっていて、大変、集落の存続に危惧を持っています。

出身集落で生活してはということになると、憲法上の問題もあります。御存じだと思いますが、「何人も、公共の福祉に反しない限り、

町長答弁

答弁② 区長さんは集落の責任者として集落の運営に当たる中で、行政が進める事業を地域に根づかせるとともに、地

居住、移転、及び職業選択の自由を有する」ということで、強制はできないと思います。

質問

## 区長さん

質問① 区長会のあり方について文書化されたものがありますか。

答弁① 区長会の議事録はあります。区長会の議事録はあります。

質問② 行政側の出席メンバーは、区長会の議事録はありますか。

答弁② 行政側のメンバーは町長、副町長、教育長、各課長です。議決機関ではないので、区長会の議事録はないが、どういう議論をしたかというメモはあります。

質問③ 区長は、各集落の代表、住民の代表です。我々議員は選挙で選ばれた町民の代表です。区長も住民を代表して質問し、我々議員も住民を代表して質問します。質疑の内容はともかく、区長会もこの議会も、行政側の出席メンバーは同じです。議会と二重行政ではないか。

町長答弁

区長さんは集落の責任者として集落の運営に当たる中で、行政が進める事業を地域に根づかせるとともに、地

域住民の意見、要望を伝える重要なパイプ役として活躍されているところです。町の意思決定をする議決機関ではないということをごます申し上げたい。

答弁① 区長会は区長会規則にあるように、本町行政事務の円滑かつ能率的な運営を図るために、毎月1回定例会として開催しています。各課からの連絡事項を伝えたり、区長さんからの要望を受け、意見交換を行っています。

答弁② 二重行政ではないかというのは、非常に極論だと思います。議会は自治法や憲法でも定められているとおり、町の意思決定をするところです。集落の要望を上げるのはありますが、広い視野に立って町全体の問題点を議論していただく、町の意思決定をするという役割です。議会は議

町長答弁

非常時の飲料水と非常食の確保については、現在のところ備蓄を行っておりません。災害への備えとして備蓄すべき飲料水は、一人当たり一日三リットルの三分、非常食は三分の九食とされています。

決機関、役場は執行機関、執行機関の協力者としての区長会という位置づけであります。

## 学校統廃合後の精査について(早町小学校)

早町小学校は統廃合され一年半を過ぎました。今年三月の議会では通学路整備のため予算も通過しましたが、いまだに着工もされておられません。工事の早い着工はできないか。

早町小学校の音楽室、図工室が耐用年数も過ぎていて危険であるが建替はできないか。

音楽室、図工室の裏側は、急傾斜地崩壊危険箇所看板があり、土砂崩れの危険性があるが対策はないか。

プールの浄水ポンプの故障による使用不能時があるが対策は考えられないか

総事業費一億八千万

円の予算をかけて、平成二十五年から二十七年度の三カ年事業で、早町集落側の喜界島循環線と早町伊実久線を結ぶ道路の改良工事を行い、平成二十七年中に児童が安全に通学できる一・五メートルの歩道を持つ道路が完成する予定です。

校舎は昭和四十二年に建設された校舎であり、耐震診断の結果、耐震性が確保されています。建物が古くなっていますが、まだ使用に耐える状況にあるので、今すぐ建てかえるという計画はありません。

裏山は斜面の傾斜が急勾配になっていますので、注意深く、見回りなどをしながら、安全を確保しつつ、今後の対処については関係部署と連携して検討してまいります。

学校では体育の時間の水泳に当たっては、使用期間中、部分排水とオーバーフローの処理によって水の清潔を維持し、使用期間中に水の全面入れかえをして対応して



外内 千里 議員

## 防災対策について

いるところです。今後、財政状況を勘案しながら対応を考えてまいります。

私は、東日本大震災発生の後、平成二十三年六月議会において、(1)町の被災地への支援、(2)自主防災組織の育成強化、(3)津波ハザードマップの作成、配布、(4)現在の避難場所、避難路の見直しの必要性、(5)地域防災のリーダーの養成、(6)町規模の防災訓練の再開の必要性、(7)幼稚園、学校の安全性の確保について質問しました。

又、昨年六月議会において、(1)自主防災組織の強化対策について、(2)高齢者の避難対策について、(3)地域防災計画の見直しについて質問しましたが、本町の現状ではたして災害時の対応は大丈

夫であるのか、危惧いたしております。そこで改めて、防災について次の五点についてお尋ねいたします。

離島である本町にとって、非常時の飲料水の確保は難しく、常日頃より準備する必要があると思うが、見解を尋ねる。

台風で定期船が欠航すると、すぐに品不足になってしまう本町の現状では、非常食の備蓄が必要があると思うが、見解を尋ねる。

現在防災無線のアナログ通信のデジタル化の整備が進んでいるが、災害時の通信網はどの様になるのか。また町民への情報伝達は心配ないのか。

災害時に備えた関係機関との連携をどの様にされているのか、また災害時にどの様な連携が必要であるのか。

防災訓練の現状と今後の計画はどの様になっているのか。

非常時の飲料水と非常食の確保については、現在のところ備蓄を行っておりません。災害への備えとして備蓄すべき飲料水は、一人当たり一日三リットルの三分、非常食は三分の九食とされています。

現在進めている地域防災計画の見直しにあわせて、必要な物資及び数量を検討しているところであり、いつ発生するかわからない災害に備えるため、早期にかつ計画的に飲料水及び食料品の備蓄を推進していきたいと思っております。また、各世帯における生活物資の備蓄についての広報を行い、住民みずからの家庭備蓄についても推進していきたいと思

平成二十五年度から平成二十七年にかけては、既存のアナログ通信防災無線からデジタル化へ整備を進めているところです。

国・県との情報伝達については、衛星携帯電話、県防災無線ネットワークシステム、Jアラート及びエムネットを活用します。町民への情報伝

人事

○ 教育委員会委員の任命



教育委員会委員  
嶺 義久氏 (城久)  
任期は、平成25年9月25日から平成29年9月24日

○ 人権擁護委員を推薦



人権擁護委員  
金久 三津枝氏 (先山)  
※同委員は、町が議会の意見を求め法務大臣に推薦するものです。任期は法務大臣が委嘱した日から3年間です。

陳情の審査結果

提出者	件名	所管委員会	審査結果
兵庫県伊丹市 井田 敏美	違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情	産業福祉	審議未了
全国森林環境税 創設促進議員連盟 板垣 一徳	「森林吸収源対策及び地球温暖化 対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情	総務文教	採 択
鹿児島県教職員組合 奄美地区支部喜界地区 協議長 有木 武史	小人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情	総務文教	採 択

意見書の審査結果

提出者	件名	審査結果
生 駒 弘	大規模地震等災害対策の促進を求める意見書	採 択
生 駒 弘	若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書	採 択
乾 和 夫	道州制導入に断固反対する意見書	採 択

公益に関わる意見書案が議員から提出され審議の結果、全会一致で可決され、関係行政庁に提出し、その実現を要請しました。

達については、防災行政無線、携帯電話を活用した緊急速報メールや役場、消防等の広報車等を活用し、町民へ情報伝達を行います

【答弁】平成二十四年度においては、新たに国土交通省九州地方整備局と大規模災害時の応援に関する協定を結び、また、鹿児島県LPガス協会奄美支部と災害時における応急生活物資の供給に関する協定を締結したところです。災害時においては、役場庁舎に災害対策本部を設置し、各関係機関が連携した情報共有を図る必要があります。そのため、今年度、役場コミュニティセンター非常用電源の整備を行います。各関係機関と情報の共有を図り、迅速かつ的確な災害対策を遂行する防災組織の整備を推進していきたいと思えます。

【答弁】平成二十四年度に上嘉地区において、地震・津波を想定した避難訓練を行い、さまざまな問題点、改善点を見出したところです。また、各自主防災組織における研修・訓練が必要と考え、中里地区において名瀬測候所職員を講

師に、図上訓練を行いました。そこで避難経路、避難場所の確認、要援護者対策等を再確認したところです。

現在、集落の自主防災組織ごとの検証を実施中であり、平成二十五年度は阿伝集落、坂嶺集落において防災研修を行います。他の自主防災組織においても要望が来ており、全ての自主防災組織において順次取り組んでいきたいと考えています。



里村 忠弘 議員

【質問】  
未来へ安心、安全の防災対策について

【質問】防災ハザードマップの整備は、何集落かお尋ねします。

【質問】大規模地震と大津波の襲来を想定した防災訓練、避難訓練の計画は考えられぬか。

【質問】高台への避難道路の新設は考えられないか。

町長答弁  
【答弁】平成二十五年三月に本町の地図に標高と避難心得、避難場所などを記載した防災ハザードマップを作成し、全戸に配布しましたが、集落ごとのハザードマップは未整備の状況です。

今後の計画としては、鹿児島県が作成した南海トラフ及び奄美群島北部地震を想定した津波浸水予測データを活用し、集落単位または旧小学校単位の防災ハザードマップの整備を進めていきたいと考えています。

【答弁】各自主防災組織において図上訓練を行い、避難経路、避難場所の確認、要援護者対策等を再確認することが重要であると考えています。全ての自主防災組織に訓練の重要性を周知して、訓練を行っていききたいと思います。

また、警察、消防、自衛隊、病院等と連携した総合防災訓練の実施に向けて、関係機関と調整していききたいと考えています。

【答弁】災害時の避難については、徒歩避難が基本です。町全体の避難経路を考えると、地域においては避難道路を整備し、新設が必要な場所があると思います。

各自主防災組織において図上訓練を実施していただき、避難経路、避難場所の確認を行い、避難道路の整備、新設等の必要があれば、整備を検討していききたいと考えています。

【質問】  
奄美群島振興開発特別措置法について

【質問】奄美群島振興開発特別措置法の改正に伴う一括交付金の創設案についての考えを伺う。

町長答弁

【答弁】平成二十五年度末で期限切れを迎える奄美群島振興開発特別措置法の延長につきましては、「奄振総合調査」や「奄美群島の在り方検討委員会」での検討、また、「奄美群島成長戦略ビジョンの策定」など、県や広域事務組合と連携し、町としても鋭意作

業を進めています。その中で、地元の裁量に基づいて実施できる一括交付金の創設について、地元の強い要望として奄美群島振興開発審議会が政府に意見具申をする中にも明記され、八月末の来年度各省庁概算要求で約三十億円が計上されています。

一括交付金の支援メニューとして、農水産物輸送コストの軽減、船の航路、飛行機の航空路運賃の低減の二本を柱に、農業創出支援、農業、観光、情報通信等人材育成、定住促進支援、防災施設整備など、従来の奄振非公共事業が盛り込まれています。

奄振法の改正に伴い一括交付金が創設されると、それぞれの支援メニューを活用し、産業の振興、雇用の促進、生活環境の整備など、交付金事業のメリットを生かした事業を推進していくことが可能になります。

現在、負担割合など制度設計が固まっている段階です。今後も継続して関係機関と連携しながら、金額の確保と、さらには地元にとって、よりよい制度になるよう、強く働きかけてまいりたいと考えています。